

「よい子 強い子 伊丹の子」

伊丹っ子



学校だよりNo. 22

令和5年10月20日

伊丹市立伊丹小学校

校長 磯田 かおり

『九九先生』の力強い応援に感謝！

2年生は2学期から算数で九九の学習を進めています。九九は、この後の割り算や割合等の学習を進めていく基礎となります。なるべく早く覚えて、繰り返し唱えたり書いたりする習熟の時間をたっぷりとり、自信につなげてほしいと思います。

今年、10月から12月中旬まで週に2回、ふだん安全見守りや図書、園芸等のボランティアで子どもたちに関わっていただいている方々に九九先生になっていただき、各教室で覚えた九九を聞いていただいています。

「二重丸もらった！」

「よく覚えてるって言ってもらった！」

等々、子どもたちがにこにこして話しています。

しっかり覚えて自信をつけることとともに、たくさんの方々と出会い、大切にされている幸せを感じてほしいとも願っています。



『卒業式』小学校での学びの最終日

少し先のことですが、3月19日(火)は卒業式です。6年生は担任を中心に、最終登校日である卒業式の日立派に成長して希望をもって巣立つ姿をイメージし、日々教育活動に取り組んでいます。毎日の教科学習はもちろんのこと、運動会等の行事や各委員会活動で全校生の活躍や運営を支え、仲間と協力して力を発揮しています。

感染対策の制約がなくなり、創立150周年を迎えた後の新たな1年目を刻む卒業生として、これまで以上に仲間とのつながりを大切にして、新しい歴史を積み重ねてほしいと願っています。一つのことを成し遂げる大変さやそれを乗り越えた喜びをたくさん経験して、達成感と自信を胸に抱いて卒業して行ってほしいと思っています。

さて、その卒業式で袴や着物を着る児童が最近増えており、様々な議論がなされています。大切な日だからこそ各ご家庭で衣装も相談されていることと思います。ただ、着付けのために早朝から準備して気分が悪くなる、着崩れて裾を踏みそうになる、トイレで苦勞する等の普段とは違う状況が卒業式当日には見受けられます。卒業式に向けて練習してきた力を普段どおりに発揮でき、お子様にとってよりよい卒業式になりますことを願っています。

自分で考えて選択できる人になってほしい

お子様が小学校を卒業して中学校、そしてその先に進み成長していく中では、親も子も「どうしたらよいものか？」と悩む場面は何度も出合うことと思います。仲のよい友だちの選択や多数に合わせることもよいとは限りません。参考にすることはよいと思いますが、子どもたちには岐路に立った時にしっかり悩み、周囲に流されることなく、自分の考えや信念をもち、納得のできる人生の決断ができる大人になってほしいと願っています。

服装についても、ご家庭でも十分に考えて話し合い、決めていただけたらと思います。

但し、式場・校舎内は上靴を履いていただきます。安全確保のためご了承ください。